

## 敦賀発電所の敷地内破碎帯の評価に関する 事実関係について（その 2）

### <石渡委員の発言に関する検証>

石渡委員は、平成 27 年 3 月 25 日の臨時記者会見において「私はあの場におりましたし、議事録も全部確認いたしました。（ピア・レビューからは）結論を変えろという御意見はなかったと私は思っております。」と発言していましたが、これは事実に著しく反しています。

平成 26 年 12 月 10 日のピア・レビュー会合での実際のやり取りは、以下に示すとおり、ピア・レビューから出された評価書案の根幹に係わる、結論を変えるような意見は、座長の「この会合は、やり直しにつながるような再評価をする場ではない」旨の発言により、再三に亘り遮られたというのが事実です。結論を変えるような多くの意見が出ていました。

#### 【ピア・レビュー A】

「・・・K断層というのとD-1破碎帯、全く違うものじゃないかと。いろんな観点からですね。そういうふうに私は現場で詳しく見たつもりではいます。」

「・・・だから、今問題になっているのはK断層だけなんですよね。G断層はほぼ問題になっていないので、このK断層の関連性というのは、人によって違った印象を受けたんじゃないかと思いますが、・・・」（27ページ※）

#### 【座長】

「・・・有識者会合のほうでは、一応の議論と結論が、ここに評価として出ているということではありますね。ですから、最初にも、このレビューの意味ですけれども、あまりそこに立ち入ってしまうと、じゃあ最初からやり直しますかという話になってしまうので、ちょっとそれは難しい。」（27ページ※）

#### 【ピア・レビュー B】

「・・・ただ、私としましては、こういったものを根拠に横ずれというのは、今このデータだけで出すというのはとてもできないというふうに思いますね。この断層については非常に解釈しにくいんですけども、これは本当に断層ですかねというのも、意見としてあるのですが。」（33ページ※）

#### 【座長】

「・・・繰り返しますが、ここは再評価をするところではございませんので、いただいたコメントは、コメントとして受け取って、後に有識者会合のほうで文案をさらに詰めるという、そういうことになりますので・・・」（34ページ※）

#### 【ピア・レビューA】

「・・・これは不思議だと言われますが、破碎帯——トレンチやっても、断層のメインなものからいっぱい派生する、急激に小さくなるというのは多々あることですよ。私は、そういうふうに現場では見ましたけども。」（34ページ※）

#### 【座長】

「・・・繰り返しになりますが、大変重要な点ですので、御意見は御意見として承って、後の議論に活かしていただければというふうに思います。・・・」（35ページ※）

#### 【ピア・レビューC】

「・・・事業者側の考え方をある意味否定をしたいということであれば、やっぱりそこは丁寧な説明が必要なのかなと思うんですね。・・・」（39ページ※）

#### 【座長】

「今のはコメントとして受け取っておけばよろしいんですかね。」（40ページ※）

#### 【ピア・レビューB】

「・・・層準的には全く矛盾してないことですので、それを根拠に信頼性が低いとされるのは、私はどうかと思います。・・・それは100%は証明されてませんよと書くべきであって、その後者を表に出すというのは、科学的でも技術的でもないですよ。それはもう明らかに何らかの別の判断が入ってるということになりますので、・・・」（42ページ※）

#### 【座長】

「お気持ちはわかりますが、ここでそういう議論をしてもあまり意味がないと思いますので。」  
「それはコメントとして、有識者の方々も認識していただけたらと思います。」（44ページ※）

#### 【ピア・レビューB】

「そうしたときにちょっと気になる記述が幾つかございまして、たくさんあるんですが、・・・私は全く理解できないので、・・・これが適切かどうかちょっと再考をお願いしたいと思います。・・・K断層の活動層準の認定のところで、事業者が時間ごとに違うスケッチを出してきたということを出して、それを非難するような記述があったんですが、・・・状況がよく改善されたとしてとるべきであって、これをその問題にするというのは、ちょっと私、信じがたいんですが。・・・」（49ページ※）

#### 【座長】

「・・・ここでの、評価の内容に踏み込んでやる場ではありませんけれども、御意見は御意見として承るということ承っておきたいと思います。・・・」（51ページ※）

以上のとおり、ピア・レビューから、評価書案の根幹に係わる、結論を変えるような多くの意見が出ていたというのが事実であって、石渡委員が平成27年3月25日の会見で発言した「結論を変えろという御意見はなかった」は、事実と全く異なります。

以上

※：ピア・レビュー会合（平成26年12月10日）議事録

(URL) <http://www.nsr.go.jp/data/000090805.pdf>